

お亀岩避難小屋泊ゴミ拾い



三嶺頂上より天狗塚方面

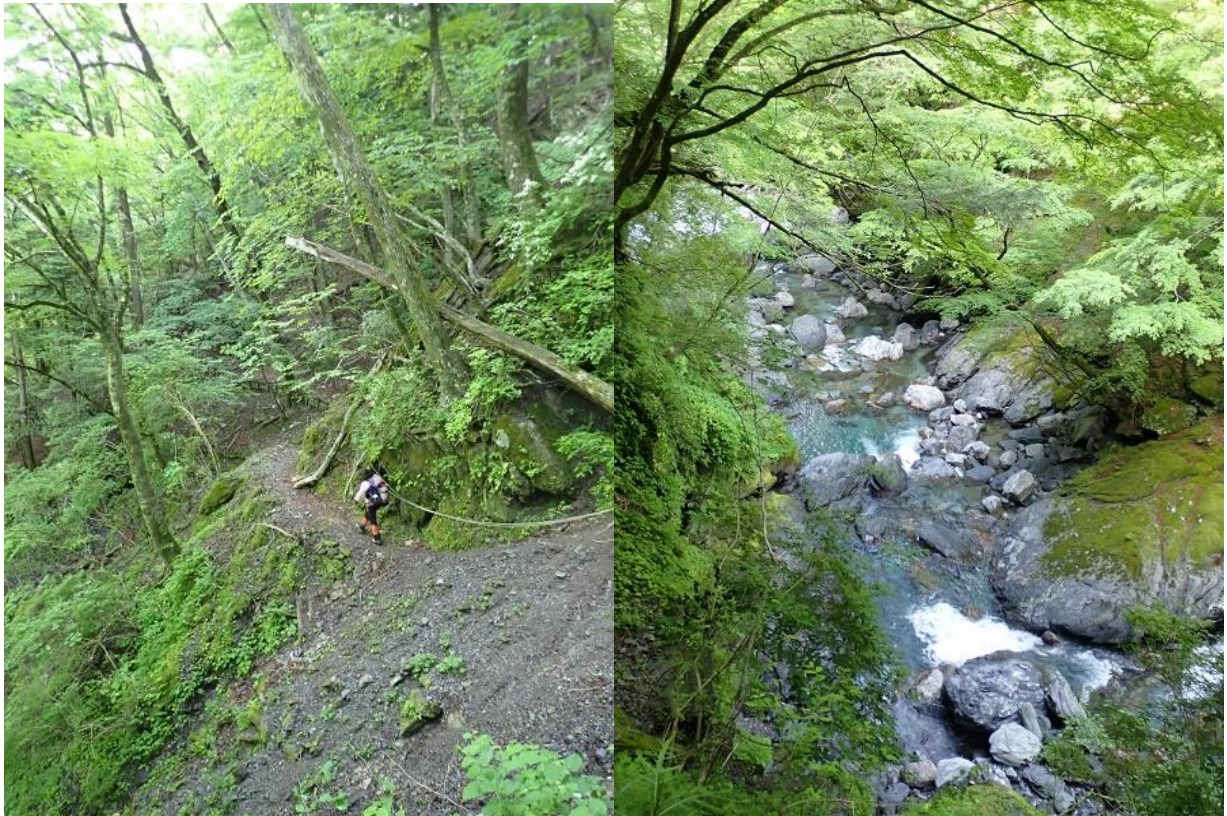
2023年 5月27、28日（土、日） 天候：晴れ、霧 参加者：2名

場所：お亀岩避難小屋～天狗塚～三嶺

行動：5/27 南国市役所6:50 → 8:00光石登山口8:20 → 堂床8:40 → 9:05八丁小屋9:10 → 渡渉点9:40 → 11:30お亀岩避難小屋12:05 → 12:55天狗塚13:10 → 13:30牛の背13:35 → 14:30お亀岩避難小屋（泊）
5/28 お亀岩避難小屋 6:50 → 7:20 西熊山 7:35 → 8:55 三嶺 → 10:50 例会に合流

三嶺清掃登山に合わせて前泊で「お亀岩避難小屋泊ゴミ拾い」に行ってきました。
光石登山口からのスタート、すぐに登山道の崩れているところがありロープをもって慎重に進みます。
下を覗くと真下に西熊溪谷が見えちょっとスリルがあります。このコースは自然林の中、溪谷を見ながらとても気持ちがいいコースです。

いくつかの分岐を過ぎ八丁ヒュッテへ、去年来たときはまだ残骸が残っていた水場もすっかり片付けられていて、水場の復活は遠いようです。小屋の中はいつものようにきれいに掃除が行き届いています。水場がないのが残念！



・光石から直ぐの崩れた登山道、下には西熊溪谷



・堂床辺りの西熊溪谷



・八丁ヒュッテ手前



・八丁ヒュッテ

ヒュッテを過ぎカンカケ谷の渡渉点辺りから道が荒れてきます。さっそく渡ったところの登り口が崩れていて分からなくなっています。遠くに見えるテープを目当てに何とか登りだします。その後も谷沿いの道は道とは言えないくらいでどこでも歩いてしまいそうです。これも尾根筋へ入るまで、本格的な登りにかかると道もはっきりしてきます。また、登るにつれツツジは見えだし目を楽しませてくれます。



・溪谷から外れ登りにかかるとツツジが見え始める

きつい登りが続き、もうしんどいなと思うあたりで左手に地藏ノ頭が見えてきます。ここの斜面にもツツジが咲いていていい眺めです。もう少し進むとお亀岩も見えてきて、この辺りがこのコースのハイライトだといつも思うところです。



・地藏ノ頭辺り



・お亀岩を望む



・お亀岩避難小屋到着



・奥に西熊山

水場で水を補充しお亀岩避難小屋到着、この小屋は人気小屋だとのことで満員を心配していましたがまだ誰も着いていません。スペースを確保しお昼を済ませ天狗塚方面に向かいます。その間にお昼を食べる方が何人か見えていました。



・稜線にもツツジが



・霧に隠れたり出たりの天狗塚

稜線に出ると風が出てきて霧もかかってきます。天狗塚も出たり隠れたりですが、天気の方はこれ以上崩れることは無いようです。心配していた小屋のスペースも確保でき、時間もたっぷり有るのでツツジを見ながらゆるゆると進みます。稜線のツツジもきれいですし、谷筋を覗いてもツツジの群生が有ったりして十分すぎるくらい目を楽しませてもらいました。



・天狗塚頂上（一人はお昼寝）

天狗塚頂上は風が少し吹いていますが寒いほどではありません。時間が余るほどあるので一人はお昼寝などをしていますが、それはちょっと寒そうです。そんなことで予定には入れてなかったのですが牛の背の方にも回ってみました。（この時は霧が出てきて霧の中を歩いているだけでしたが）



・時間調整に牛の背方面にも足を伸ばします

牛の背を回って小屋に戻ってきててもまだ3時前、酒盛りまでにまだまだ時間があります。そんなことをしている間に流石人気の小屋、お客さんが集まってきます。広島からわざわざこの小屋を目指してやってきた方などいいて、人気の小屋ですね。（それでもほどほどの人数で良かったです） 一人酒盛りは4時から始まり暗くなった8時ころまで続きました。

翌日は予定より早めに7時には出発です。最初は9時スタートの計画でしたが、小屋泊で9時スタートはちょっと無理のようです。5時前頃から回りがざわざわだし6時頃にはみなさん出発します。

そこを何とか頑張って7時前まで粘りましたが、そこであきらめゆっくり進むということでスタートしました。



・西熊山から地蔵ノ頭、天狗塚方面

いつもながら西熊山からの景色はいいですね。うっとり景色を楽しみます。まだ朝が早いのにいろいろな方が登ってきます。光石登山口を夜中にスタートし天狗塚などをぐるりと回ってきた女性の4人組、走るような恰好でした。東京から夜行バスでやってきて今日も夜行バスで帰るとの女性の単独者。みなさんこのコースには満足しているようでした。



・笹の西熊山頂上

・休憩岩より三嶺を望む

三嶺に向かう途中、三嶺を眺めながら休憩に丁度の岩があり一服すると、岩の下にゴミ発見、今日の山行目的を思い出しやっとゴミを拾います。ゴミはほとんどここだけでした。



・ゴミを求めて三嶺ヒュッテまわりへ

三嶺頂上に到着、時間が余り過ぎるほどあるのでゴミを求めて三嶺ヒュッテまわりを歩いてみます。時間は少しだけつぶせましたが収穫はほとんどなしです。久しぶりに三嶺ヒュッテを覗きましたがここもきれいに掃除が行き届いているようです。



・ヒュッテより頂上へ

・三嶺頂上

頂上に戻って清掃登山のメンバーを待ちますが、予定通りやってくるのか？などの心配が頭をよぎります。携帯に慣れたこの頃、連絡手段がないのは不安なものです。少しだけ無線機の必要性を感じたところです。

今回もいい小屋迫山行が楽しめました。次は三嶺～剣山縦走小屋泊を計画します。お楽しみに。

これからも楽しい山行を計画しましょう。

国吉